

IV. 担当教員及び主な授業科目

2020年6月1日現在

☎ 03-5978- (下記☎参照)

比較社会文化学専攻 Comparative Studies of Societies and Cultures			
国際日本学領域 Japanese Studies in a Global Perspective			
担当教員 Position Name	授業科目 Main Subject	研究テーマ又は研究分野	
教授 Professor 森山 新 MORIYAMA Shin ☎(5691)	応用言語学研究 Applied Linguistics	【応用言語学】最近注目を浴びつつある認知言語学の知見などを取り入れながら、第二言語としての日本語習得のメカニズムを探り、あわせて教材開発や教授法など日本語教育への応用可能性について考える。 e-mail: moriyama.shin@ocha.ac.jp	
教授 Professor 浅田 徹 ASADA Toru ☎(5199)	日本中世言語文化論 Japanese Literature and Culture in the Kamakura and Muromachi Periods	【日本中世文学】平安末期から近世初期までの和歌を中心に、社会の中にシステムとして組み込まれた文芸のありかた（「勅撰和歌集」「歌道家」「古今伝授」等）を考察する。その他諸ジャンルにおける秘伝の成立などに関心を持っている。 e-mail: asada.toru@ocha.ac.jp	
教授 Professor 宮内 貴久 MIYAUCHI Takahisa ☎(5797)	日本民俗文化論 Japanese Folk Culture	【日本民俗学、文化人類学】日本の民俗文化、主として建築文化と住生活について関心がある。特に日本における風水の受容について取り組んでいる。また、口頭伝承だけでなく、書籍、出版、読書生活、リテラシーを通して生活文化の中における文字文化の位相についても研究を進めている。 e-mail: miyauchi.takahisa@ocha.ac.jp	
教授 Professor 神田 由築 KANDA Yutsuki ☎(5182)	日本近世史研究 Japanese Modern History	【日本近世史】近世の都市や地域社会の構造を、芸能興行など文化的活動の場という視点から捉え直そうとしている。特に、都市や市場に集まる芸能民や商人、遊女、侠客などの集団に関心がある。 e-mail: kanda.yutsuki@ocha.ac.jp	
教授 Professor 水村 真由美 MIZUMURA Mayumi ☎(5264)	舞踊文化分析論 Cultural Analysis of Dancing	【身体運動科学】舞踊を含む身体運動全般を、生理学およびバイオメカニクスの手法により調査している。トレーニングや練習といったくり返しの運動によって、身体諸機能や動作が変容する可能性に関心をもっている。 e-mail: mizumura.mayumi@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor 松岡 智之 MATSUOKA Tomoyuki ☎(5200)	日本中古言語文化論 Japanese Literature and Culture in the Heian Period	【日本中古文学】『源氏物語』をはじめとする物語文学を中心に、中古文学（平安時代の文学）を研究している。言葉相互の関係に着目した作品解説を主眼とし、社会・制度の歴史や仏教思想と文学作品との関係なども追究している。 e-mail: matsuoaka.tomoyuki@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor 谷口 幸代 TANIGUCHI Sachiyo ☎(5206)	日本近代言語文化論 Japanese Modern Literature and Culture	【日本近代文学】近代の日本文学における日本の古美術の受容とその影響を研究している。特に川端康成の文学における古美術の受容とその変容過程に関心がある。 e-mail: taniguchi.sachiyo@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor 西川 朋美 NISHIKAWA Tomomi ☎(5334)	第二言語習得論 Second Language Acquisition	【第二言語習得】大人・子どもの第二言語習得のメカニズムの解明を目指すとともに、その研究成果の日本語教育への応用を考える。 e-mail: nishikawa.tomomi@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor 竹村 明日香 TAKEMURA Asuka ☎(5203)	日本語分析論 Analysis of Japanese Language	【日本語学】キリシタン資料や方言資料を用いて、日本語の変遷（主に音韻）について研究している。方言では近畿方言で書かれた上方落語を中心に扱ひ、語彙・文法に関しても考察している。また、中近世の能楽資料にみえる発音指南の記述にも関心がある。 e-mail: takemura.asuka@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor 宮下 聡子 MIYASHITA Satoko ☎(5167)	文化思想分析論 Japanese Culture and Thought	【倫理学】倫理と心理と宗教の接点を探るというテーマのもと、人間のあり方について人間の内面と超越的次元との関わりにおいて考察している。主として、ユング、フランクフル、フロム、キューブラー＝ロスといった精神科医、心理学者の思想を研究対象としているが、上記のテーマに関わる思想であれば、洋の東西を問わず、研究対象となり得る。 e-mail: miyashita.satoko@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor 大藪 海 OYABU Umi ☎(5178)	日本宗教社会史論 Japanese Historical Society and Religion	【日本中世史】権力による支配構造の解明に取り組んでいる。朝廷や幕府といった中央権力に限定せず、地域権力も検討の対象とし、中央と地域との繋がりに注目している。 e-mail: oyabu.umi@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor 石井 久美子 ISHII Kumiko ☎(5205)	日本語情報論 Information Theory of Japanese Language	【日本語学】近代から現代の日本語の語彙・表記について研究している。特に、外来語の受容と定着の痕相に関心を持っている。 e-mail: ishii.kumiko@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor GC 本林 響子 MOTOYASHI Kyoko ☎(5255)	言語コミュニケーション論演習 Seminar: Language and Communication	【社会言語学】社会における言語使用と言語思想のありようについてミクロとマクロの両面から考察するとともに、言語教育の分野における応用を考える。 e-mail: motobayashi.kyoko@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor 理忠 美沙 UMETADA Misa ☎(5782)	日本伝統芸能論 Traditional Performing Arts	【日本近世・近代演劇】河竹黙阿弥を中心に、幕末明治の歌舞伎及びそれと関係する演劇を研究している。 e-mail: umetada.misa@ocha.ac.jp	
講師 Lecturer 藤川 玲満 FUJIKAWA Reman ☎(5202)	日本近世言語文化論 Japanese Literature and Culture in the Edo Period	【日本近世文学】秋里藤島を中心に、近世中後期上方の文学とこれに関わる出版文化について研究している。 e-mail: fujikawa.reman@ocha.ac.jp	
講師 Lecturer GC 櫻井 勇介 SAKURAI Yusuke ☎(5194)	多文化間心理学研究 Multicultural Psychology	【国際教育】グローバルな場で学ぶ大学留学生や若手研究者の学びや能力開発の質を評価し、国際化する大学教育の実践へ還元することを主な課題としています。 e-mail: sakurai.yusuke@ocha.ac.jp	
助教 Assistant Professor 湯川 文彦 YUKAWA Fumihiko ☎(5179)	日本近現代史研究 Study of Modern Japanese History	【日本近現代史】日本の近代国家・社会の形成過程について、政治・外交・法制・教育・警察・司法などの観点から多角的に研究している。とくに明治維新の展開構造について中央・地方双方の視点から分析している。 e-mail: yukawa.fumihiko@ocha.ac.jp	
言語文化論領域 Language, Literature, and Culture			
教授 Professor 松崎 毅 MATSUZAKI Takeshi ☎(5223)	テキスト文化論 Text Culture	【17世紀イギリス文学】詩を中心とする17世紀のテキストを、政治的・宗教的・社会史的文脈に即して分析するとともに、ジャンル・検閲・読者層等のテキストを取り巻く文化との関連において読み直す作業を行っている。 e-mail: matsuzaki.takeshi@ocha.ac.jp	
教授 Professor 和田 英信 WADA Hidenobu ☎(5217)	中国言語芸術・批評論 Literary Criticism of China	【中国古典文学】中国の詩と詩論について、とくに文学理論の表現形式に着目したアプローチを模索している。 e-mail: wada.hidenobu@ocha.ac.jp	
教授 Professor 戸谷 陽子 TOTANI Yoko ☎(5225)	アメリカ言語文化論 American Language and Culture	【現代アメリカ演劇・パフォーマンス研究】現代アメリカ演劇・舞台芸術を対象にパフォーマンス研究の視点から研究。芸術実践および表象のポリティクスと社会との関わりに興味をもち、公共の文化芸術政策や制度との関わりにおいて分析。 e-mail: totani.yoko@ocha.ac.jp	
教授 Professor GC ダイアン・ナガトモ Diane Hawley Nagatomo ☎(5226)	第二言語（英語）教育論 Second Language (English) Education Theory	【英語教育論】 Investigating issues surrounding identity, beliefs, and practices of second language teachers. e-mail: hawley.diane.edla@ocha.ac.jp	
教授 Professor 野口 徹 NOGUCHI Tohru ☎(5228)	文法理論 Grammatical Theory	【文法理論】生成文法理論に基づき、統語論、意味論、形態論の諸分野の特性及び各部門間の関係を明らかにする。より具体的には、照応の問題を中心的な研究テーマとしている。 e-mail: noguchi.tohru@ocha.ac.jp	
教授 Professor 伊藤 さとみ ITO Satomi ☎(5218)	中国語圏言語文化論 Chinese Linguistics	【中国語学】現代中国語の文法を形式言語学の視点から研究している。主なテーマは、疑問詞の照応的用法、形容詞の意味論、選択疑問文の研究など。 e-mail: ito.satomi@ocha.ac.jp	

(注1) ◎は、2021年度末をもって退職予定であり、○は2022年度末をもって退職予定である教員である。

なお、2020年度末（2021年3月31日付）で定年退職予定の教員は記載されていない。

(注2) ※は、領域代表である。

(注3) GCは、Global Students Course担当可能教員である。

(注4) **印の教員は、主任指導教員として志望できない。

比較社会文化学専攻 Comparative Studies of Societies and Cultures			
言語文化論領域 Language, Literature, and Culture			
担当教員	授業科目	研究テーマ又は研究分野	
Position	Name	Main Subject	
准教授 Associate Professor GC NAKANISHI Kimiko ☎(5222)	中西 公子 Formal Semantics	形式意味論	【意味論・語用論】人間が言語の意味を理解する仕組みを、「語の意味と文の意味の関係」と「文の意味と談話の関係」の考察を通して明確にする。諸言語の比較に基づき言語の普遍的特徴を探る一方で、個別言語の理解にも努める。 e-mail: nakanishi.kimiko@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor GC YAMAKOSHI Kyoko ☎(5224)	山腰 京子 First Language Acquisition	第一言語習得論	【第一言語習得】生成文法理論に基づき、主に子供の母語習得の仕組みを探る。主なテーマは疑問文、数量詞、受身と使役など。 e-mail: yamakoshi.kyoko@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor GC TAKAKUWA Haruko ☎(5227)	高桑 晴子 Language and Culture of Britain	イギリス言語文化論	【イギリス・アイルランド小説】極めて近代的な文学形態である小説というジャンルを文化的・社会的文脈において分析する。19世紀のイギリスおよびアイルランド小説を主にネイションとジェンダーという文脈で研究中。 e-mail: takakuwa.haruko@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor ※ ** ☎(5239)	小松 祐子 Francophone Cultures	仏語圏文化論	【フランス語圏言語文化研究・フランス語教育学】フランス語圏の言語文化をフランス語の言語政策・教育学とあわせて研究している。近年はとくに北米フランス語圏・ベルギーを中心に研究中である。 e-mail: komatsu.sachiko@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor GC Allen David Brian ☎(5229)	Allen David Brian Second Language Acquisition	第二言語習得論研究	【第二言語習得研究】第二言語の語彙習得における第一言語の影響に関する研究を主とする。第二言語教育とテスト理論に基づいた評価に関する研究。言語テストの波及効果 (washback) の研究もおこなっている。 e-mail: allen.david.brian@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor ** ☎(5241)	田中 琢三 Literary Art in French-speaking Countries	仏語圏言語芸術論	【フランス近代文学】19世紀末から20世紀初頭のフランス文学と政治の関係、特に小説におけるイデオロギーの表象について研究している。 e-mail: tanaka.takuzo@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor ** ☎(5236)	前田 佳一 Language and Culture of German-speaking Countries	独語圏文化論	【近現代ドイツ語圏文学】近現代のドイツ語圏文学、特に20世紀オーストリアの文学を中心に研究している。 e-mail: maeda.keiichi@ocha.ac.jp
比較社会論領域 Comparative Social Studies			
教授 Professor ☎(5177)	新井 由紀夫 Studies of Western Medieval History	西洋中世史研究	【イギリス中世史】14・15世紀の政治社会の在り方。とりわけ土地保有階層であるジェントリの社会的結合関係や、メンタリティー、中世ヨーロッパ古書体学などに関心がある。 e-mail: arai.yukio@ocha.ac.jp
教授 Professor ※ ☎(5181)	安成 英樹 Studies of Western Modern History	西洋近世史研究	【フランス近世史】絶対王政期のフランス社会をフィールドとして、前近代ヨーロッパの政治的、社会的、国際的な特質を広く考究する。 e-mail: yasunari.hideki@ocha.ac.jp
教授 Professor ** ☎(5268)	新名 謙二 Comparative Sports Management	比較スポーツマネジメント論	【比較スポーツマネジメント論】スポーツ施設やスポーツ団体におけるマネジメント課題について、地域的比較あるいは時間的比較という視点からの分析を行う。 e-mail: nina.kenji@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor ☎(5164)	三浦 謙 Epistemology	認識論・知識の哲学	【科学哲学】哲学における認識論と、科学における方法論や理論形成の過程をもとに、認識や知識の根拠付けや限界についての問題を研究している。 e-mail: miura.ken@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor ☎(5165)	中野 裕考 Western Modern Philosophy	西洋近代哲学	【西洋近代哲学】カントを中心に、17・18世紀の西洋哲学において、知覚、認識、自己等の主題に関して、現代哲学の源流を探っている。 e-mail: nakano.hirotaka@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor ** ☎(5176)	戸川 貴行 Studies on Ancient History of East Asia	東アジア古代史研究	【東アジア古代史研究】漢唐間の中国を中心として、古代東アジアの政治文化、国際秩序等の展開を新たな視点からとらえ直す。 e-mail: togawa.takayuki@ocha.ac.jp
助教 Assistant Professor ** ☎(5184)	阿部 尚史 History of West Asia	西アジア史	西アジアでもとくにイランに焦点を当て、近世・近代における家族と女性の関係、ムスリム聖者廟、少数派 (アルメニア教徒)、及び文化史などを研究している。 e-mail: abe.naofumi@ocha.ac.jp
(教授)	棚橋 訓	文化構造論	担当専攻「ジェンダー学際研究専攻」ジェンダー論領域 比較文化ジェンダー論に同じ。
表象芸術論領域 Arts and Representational Studies			
教授 Professor ☎(5170)	天野 知香 Studies of Western Art History	西洋美術論	【西洋美術史】特に十九世紀後半から二十世紀前半にかけてのフランス美術と装飾芸術を中心に、社会における芸術の概念の位相とその変化をとらえながら、作品を取り巻く制度や批評的言説を考察し、個々の作品を分析する。フェミニズム美術史、視覚表象分析理論。 e-mail: amano.chika@ocha.ac.jp
教授 Professor ☎(5278)	小坂 圭太 Instrumental Music	器楽演奏論	【ピアノ演奏】ピアノという西欧近代特有の思考を体現するような楽器の演奏を通じ、「古典」の概念の検証を行うと同時に、ほとんど西欧化と同義語になっている今日の文化の「グローバル化」について考察する。 e-mail: kosaka.keit@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor ※ ☎(5798)	鈴木 禎宏 Comparative Study of Culture	比較文化論	【比較文化論】「比較文化論」という方法論を構築する一方で、それをを用いた文化的事象の解明を目指す。 e-mail: suzuki.sadahiro@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor ** ☎(5269)	中村 美奈子 Ethnic Dances	民族舞踊論	【民族舞踊論】インドネシア (バリ島) の舞踊を中心に、日本を含むアジア地域の民族舞踊の調査・研究を主な領域としている。理論と実践の両面からのアプローチを行い、舞踊記譜法などの分析手法を用いた舞踊の比較分析に関心を持っている。 e-mail: nakamura.minako@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor ** ☎(5802)	新實 五穂 Western Dress Cultures	西洋服飾論	【西洋服飾史】19世紀フランスを中心に、ひとが服を身に着ける意味および服装における社会表象に関して分析し、人間の営みや時代の心性を明らかにすることを旨とする。 e-mail: niimi.ih@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor ** ☎(5800)	難波 知子 Costume and Cultural Resources	服飾文化資源論	【日本服飾史】特に明治以降の服飾変遷に着目し、洋服の導入・普及とともに生じた和服の再編成・再解釈など、服飾をめぐる近代的な価値観や生活様式の形成を明らかにする。 e-mail: namba.tomoko@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor ☎(5281)	井上 登喜子 Musicology, Culture and Representation	音楽表象論	【音楽学】音楽が社会の中でどのように伝播・普及し、それがどのような意味を持つのかという音楽受容の問題に関して、近代ドイツと日本、そして今日のグローバル社会における西洋音楽受容を中心に、歴史的、実証的に考察する。 e-mail: inoue.tokiko@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor ** ☎(5169)	土谷 真紀 Comparative Study of Art	比較芸術論	【日本美術史】日本中世における絵画を中心に、作品の生成と享受の問題について物語、宗教といった視点から考察を行う。 e-mail: tsuchiya.maki@ocha.ac.jp
助教 Assistant Professor ** ☎(5265)	福本 まあや Theory of Dance Expression	舞踊表現論	【舞踊表現論】舞踊の教育的意義、社会的意義に関する既存の研究に整理・再検討を加え、そこから新たな研究課題と研究方法を創出し、人間と舞踊の関わりを複眼的に考察する。 e-mail: fukumoto.maaya@ocha.ac.jp

(注1) ◎は、2021年度末をもって退職予定であり、○は2022年度末をもって退職予定である教員である。

なお、2020年度末 (2021年3月31日付) で定年退職予定の教員は記載されていない。

(注2) ※は、領域代表である。

(注3) GCは、Global Students Course担当可能教員である。

(注4) **印の教員は、主任指導教員として志望できない。

(注5) () は、他専攻の兼任教員であり、本専攻では主任指導教員にはならない。

人間発達科学専攻 Human Developmental Sciences			
教育科学領域 Educational Sciences			
担当教員	授業科目	研究テーマ又は研究分野	
Position Name	Main Subject		
教授 米田 俊彦 YONEDA Toshihiko ☎(2554)	教育史論 History of Education	【教育制度・政策史】近・現代日本の教育制度の変遷、あるいは教育制度改革をめぐる論議や意思決定過程を対象とする制度・政策史研究や、制度・政策の浸透ないし実現過程の分析としての実態史研究を進めている。 e-mail: yoneda.toshihiko@ocha.ac.jp	
教授 池田 全之 IKEDA Takeyuki ☎(5243)	比較教育思想史論 Philosophy of Education	【教育哲学】18世紀以降のドイツにおける人間形成論、とりわけ、ドイツ観念論や実在哲学やフランクフルト学派の思想を中心に、近代社会と理性の運命、そこから派生する人間的自由の成立条件や美の救済機能の検討を進めている。 e-mail: ikeda.takeyuki@ocha.ac.jp	
教授 浜野 隆 HAMANO Takashi ☎(5248)	国際教育開発論 International Development and Education	【国際教育開発・協力】アジア・アフリカを中心とした発展途上国における教育の現状、国際機関の役割、国際協力のあり方などを具体的に検討している。研究の成果を実際の国際協力の実践に活用できるよう、現場との連携を常に念頭においている。 e-mail: hamano.takashi@ocha.ac.jp	
准教授 富士原 紀絵 FUJIWARA Kie ☎(5472)	教育方法学・カリキュラム論 Educational Methodology and Curriculum	【カリキュラム論・教育方法学】近現代日本の学校教育において、公的な教育内容・方法の組織された教育課程と、個々の学校レベルあるいは日々の事業の実践として展開されているカリキュラムとの関係について研究を行っている。 e-mail: fujiwara.kie@ocha.ac.jp	
心理学領域 Psychology			
教授 坂元 章 SAKAMOTO Akira ☎(5257)	メディア心理学 Media Psychology	【社会心理学】テレビ、ゲーム、インターネットなどの電子メディアが人間の行動や特性に及ぼす影響、また、その有効利用を中心に研究している。 e-mail: sakamoto.akira@ocha.ac.jp	
教授 菅原 ますみ SUGAWARA Masumi ☎(5270)	人格発達論 Personality Development	【人格形成をめぐる発達環境論】主に乳児期から青年期までを対象として、パーソナリティの発達や精神病理の発現に関わる子どもの側の要因（遺伝子関連要因を含む）と養育・教育環境との関連についての研究。 e-mail: sugawara.masumi@ocha.ac.jp	
教授 大森 美香 OMORI Mika ☎(2561)	健康行動論 Research in Health Behavior	【健康心理学・臨床心理学】心身の健康と心理社会的要因の関連に関する研究を主としている。特に青年期以降の（1）ヘルスリスク行動、健康促進行動、食行動、（2）感情、認知、ストレス、ストレスマネジメントの方法、に関わる問題を扱っている。 e-mail: omori.mika@ocha.ac.jp	
准教授 上原 泉 UEHARA Izumi ☎(5259)	発達心理学先端研究 Advanced Studies in Developmental Psychology	【発達心理学】幼児期の認知発達の研究を中心に行っている。皆に共通する発達過程と環境や文化の影響を受けやすい発達過程に関心をもつ。 e-mail: uehara.izumi@ocha.ac.jp	
発達臨床心理学領域 Developmental and Clinical Psychology			
教授 岩壁 茂 GC IWAKABE Shigeru ☎(5780)	人格システム論 Systems of Personality	【カウンセリング心理学】①カウンセリングと心理療法の過程・効果研究。②異なる人格理論、心理療法的統合に関する研究。③心理臨床家の職業的発達に関する研究。④心理療法における感情変容。 e-mail: iwakabe.shigeru@ocha.ac.jp	
准教授 高橋 哲 TAKAHASHI Masaru ** ☎(5772)	生涯発達臨床心理学 Life-span Development and Clinical Psychology	【犯罪心理学】非行少年や犯罪者に対する心理学的な査定と介入について研究している。特に、①再犯リスクアセスメント、②トラウマと嗜癖行動、③自傷と他害に関心がある。 e-mail: takahashi.masaru@ocha.ac.jp	
准教授 石丸 径一郎 ISHIMARU Keiichiro * ☎(5187)	青少年臨床論 Clinical Approach to Adolescence	【臨床心理学】LGBTQと共生について心理学的に検討している。特に、性別違和の測定、職場や学校での支援、認知行動療法の実用など。 e-mail: ishmaru.keiichiro@ocha.ac.jp	
社会学・社会政策領域 Sociology and Social Policies			
教授 坂本 佳鶴恵 SAKAMOTO Kazue ☎(5172)	社会コミュニケーション論 Social Communication	【社会学（社会意識論、家族論、コミュニケーション論）】人々の意識と社会の変化との関係を理論的実証的に究明する。人々の日常行動及びメディアを媒介としたコミュニケーションによって、アイデンティティ、家族、ジェンダー、共同体などがどのように構築され、変化していくかを研究する。 e-mail: hashimoto.sakamoto.kazue@ocha.ac.jp	
教授 小谷 眞男 KOTANI Masao ☎(5787)	比較法社会学 Comparative Studies on Society and Law	【比較法史】<生活>の比較法社会史・比較法文化史及びトランス・サイエンス論研究。特にイタリアを専門的フィールドとする。 e-mail: kotani.masao@ocha.ac.jp	
教授 大森 正博 OMORI Masahiro ☎(5987)	生活者環境論 Social Science in Human Environments	【公共経済学・医療経済学】医療・介護制度を資源配分、所得分配の観点から分析し、望ましい医療・介護制度のあり方を考える。医療・介護制度の国際比較も行う。 e-mail: omori.masahiro@ocha.ac.jp	
教授 杉野 勇 SUGINO Isamu * ☎(5171)	社会科学方法論 Social Science Methodology	【理論社会学・社会調査論】紛争や階層についての理論的考察と実証的調査研究、社会科学方法論や社会調査法研究。 e-mail: sugino.isamu@ocha.ac.jp	
准教授 西村 純子 NISHIMURA Junko ** ☎(5788)	家族変容論 Family Sociology	【家族社会学】家族関係の変容とそのダイナミクスに関する実証的研究。特に、仕事と家庭生活、子育てに関わる現象についての社会的な研究をおこなっている。 e-mail: nishimura.junko@ocha.ac.jp	
保育・児童学領域 Child Studies			
教授 小玉 亮子 KODAMA Ryoko ☎(5342)	教育文化論 Cultural Studies in Education	【比較教育文化論】次世代育成に関わる文化の総体を教育文化ととらえ、幼児教育と家庭教育を中心とした比較教育文化/社会史・子ども社会学的研究を行っている。 e-mail: kodama.ryoko@ocha.ac.jp	
教授 浜口 順子 HAMAGUCHI Junko * ☎(5826)	保育関係論 Relations in Early Childhood Care and Education	【保育学・幼児教育学】保育・教育現場と協働する多義的な保育者養成のプロセスと方法、理論を考える。子ども観、保育思想の人間学的研究。 e-mail: takeuchi.hamaguchi.junko@ocha.ac.jp	
准教授 刑部 育子 GYOBU Ikuko ☎(5527)	幼児教育論 Early Childhood Education	【幼児教育学・発達心理学】保育・教育実践の現場に関心を持ち、学習論・発達論の観点から保育・教育に関する実践的研究を行っている。 e-mail: gyobu.ikuko@ocha.ac.jp	

(注1) ◎は、2021年度末をもって退職予定であり、○は2022年度末をもって退職予定である教員である。

なお、2020年度末（2021年3月31日付）で定年退職予定の教員は記載されていない。

(注2) ※は、領域代表である。

(注3) GCは、Global Students Course担当可能教員である。

(注4) **印の教員は、主任指導教員として志望できない。

ジェンダー学際研究専攻 Interdisciplinary Gender Studies		ジェンダー学領域 Interdisciplinary Gender Studies	
担当教員	授業科目	研究テーマ又は研究分野	
Position	Name	Main Subject	
教授 Professor	GC 永瀬 伸子 NAGASE Nobuko ☎(5786)	労働論 Labor Economics	【労働経済学】就業行動、家庭内生産活動など、仕事をめぐる選択行動を経済理論を用いて分析の枠組みをつくり、先験的な予想を立て、統計等を用い実証的に分析することを専門とする。主な領域は「仕事」の選択行動であるが、出産、教育、結婚等の選択もこの枠組みで扱うこともできる。質的研究も行う。 e-mail: nagase.nobuko@ocha.ac.jp
教授 Professor	GC 棚橋 訓 TANAHASHI Satoshi ☎(5251)	比較文化ジェンダー論 Comparative Studies on Culture and Gender	【文化人類学、ジェンダー文化論】文化人類学の視点から、近現代の異文化混雑の過程に生じるジェンダー秩序の再編に関する研究、社会変動とセクシュアリティ変容に関する研究、「第三のジェンダー」に関する研究を行っている。主なフィールドはオセアニアと日本。 e-mail: tanahashi.satoshi@ocha.ac.jp
教授 Professor	GC 小林 誠 KOBAYASHI Makoto ☎(5254)	地域開発論 Local Development	【国際政治学、国際関係学】グローバリゼーションによる国際システムの変容を理論的・実証的に研究。特に、非国家アクターが台頭し、地球市民社会が形成され始めて、中央・周辺関係が変化する一方で、新たな暴力の形態が生まれていることに注目。 e-mail: kobayashi.makoto@ocha.ac.jp
教授 Professor	水野 勲 MIZUNO Isao ☎(5188)	地域分析論 Regional Analysis	【数理地理学、経済地理学】地域不均衡の累積過程のモデリング、地域統計の分析、地図化を通じて、経済地理的事象の説明を行っている。フェミニスト地理学における量的研究と質的研究の議論にも関心がある。 e-mail: mizuno.isao@ocha.ac.jp
教授 Professor	GC 申 琪榮 Shin Ki-young ☎(5843)	比較政治論 Comparative Politics	【ジェンダーと政治、日韓比較政治、フェミニズム理論】これまでの主な研究は家族法改正を目指す女性運動の日韓比較、ジェンダー・クォーター、ジェンダー主流化政策、Transnational Feminismなど。 e-mail: shin.kiyoung@ocha.ac.jp
教授 Professor	齋藤 悦子 SAITO Etsuko ☎(5986)	生活経済論 Household Economics	【生活経済学、生活経営学】家計、生活時間をジェンダーの視点から分析する。特に雇用労働者世帯を扱い、企業と生活者の関係性に注目している。現在は、生活者が「企業の社会的責任」に関係していくかを検討している。 e-mail: saito.etsuko@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	荒木 美奈子 ARAKI Minako ☎(5190)	地域開発論 Local Development	【開発研究、アフリカ地域研究】研究関心は、地域研究に基づく開発実践・研究、内発的發展、参加型開発、グローバリゼーションによる地域社会の変容などである。タンザニアを主なフィールドとしている。 e-mail: araki.minako@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	宮澤 仁 MIYAZAWA Hitoshi ☎(5195)	福祉地理学 Welfare Geography	【都市地理学、福祉地理学、地理情報システム (GIS)】人口減少・少子高齢化に伴う都市・地域の問題を地理情報システムと地域分析手法を用いて分析し、生活・福祉の視点から課題解決に取り組む。 e-mail: miyazawa.hitoshi@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	長谷川 直子 HASEGAWA Naoko ☎(5196)	環境地理学 Environmental Geography	【自然地理学・陸水学】気候変動（とくに温暖化）が湖に与える影響の解明。湖へ流入する水の挙動を観測により解明する。環境問題や地理的視点の一般社会への普及の検討。 e-mail: hasegawa.naoko@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	GC デ アウカンタラ マルセロ DE ALCANTARA Marcelo ** ☎(2084)	比較家族法論 Comparative Family Law	【家族法・比較法】親子法について、特に生殖補助医療に関連して生じた諸問題に関する研究を行っている。日本の家族法と諸外国の家族法との比較研究も行っている。家族法と国際化、家族法とジェンダーの問題にも関心がある。 e-mail: marcelo.de.alcantara@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	GC 大橋 史恵 OHASHI Fumie ☎(5341)	ジェンダー政治経済学 Gender and Political Economy	移住家事・ケア労働者の就労や生存をめぐる諸課題や彼女たちの社会運動について、主に中国・香港・台湾・日本でフィールドワークをおこないつつ研究を進めている。またポスト冷戦期東アジアのジェンダー秩序や、そのなかで生起するトランスナショナルなフェミニズム運動にも関心をもっている。 e-mail: ohashi.fumie@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	** 倉光 ミナ子 KURAMITSU Minako ☎(2612)	地域研究論 Area Studies Methodology	【文化地理学、オセアニア地域研究】最近の研究関心は、オセアニア地域研究、特にグローバル化によるジェンダーと慣習への影響、移民女性の子育てなど。主なフィールドはサモアとニュージーランド。 e-mail: kuramitsu.minako@ocha.ac.jp
(教授)	小玉 亮子	ジェンダー理論文化学 Cultural Studies and Gender Theory	【ジェンダー理論・ジェンダー史・比較文化/社会史】近現代思想をジェンダーの視点から再検討すると同時に、歴史の中で、ジェンダーがどのように構築されてきたかを検討している。

(注1) ◎は、2021年度末をもって退職予定であり、○は2022年度末をもって退職予定である教員である。

なお、2020年度末（2021年3月31日付）で定年退職予定の教員は記載されていない。

(注2) ※は、領域代表である。

(注3) GCは、Global Students Course担当可能教員である。

(注4) **印の教員は、主任指導教員として志望できない。

(注5) () は、他専攻の兼任教員であり、本専攻では主任指導教員にはならない。

ライフサイエンス専攻 Life Sciences			
生命科学領域 Biological Sciences			
担当教員	授業科目	研究テーマ又は研究分野	
Position	Name	Main Subject	
教授 GC Professor ※	千葉 和義 CHIBA Kazuyoshi ☎(5370)	細胞・発生生物学 Advanced Cell and Developmental Biology	【細胞・発生生物学】減数分裂や受精、初期発生過程において、細胞内外の情報がどのように伝達され、発生が制御されているのかについて研究している。 e-mail: chiba.kazuyoshi@ocha.ac.jp
教授 GC Professor	由良 敬 YURA Kei ☎(5514)	計算構造生物学 Computational Structural Biology	【生命情報学】ゲノム塩基配列、タンパク質立体構造座標、タンパク質などの相互作用情報が膨大に収集されるようになった。これらの情報を利用して、タンパク質がどのようにDNAやRNA、低分子などと相互作用することで、セントラルドグマなどの機構を実現しているかを、計算生物学的に明らかにしていくことを目指す。 e-mail: yura.kei@ocha.ac.jp
教授 GC Professor	加藤 美砂子 KATO Misako ☎(5293)	植物分子生理学 Plant Molecular Physiology	【植物分子生理学】植物に特有の代謝系に焦点をあて、その調節機構を遺伝子発現のレベルから解析している。特に植物の二次代謝系や脂質合成系を制御する分子機構に着目して研究を進めている。 e-mail: kato.misako@ocha.ac.jp
教授 GC Professor	服田 昌之 HATTA Masayuki ☎(5579)	生物圏科学 Biosphere Science	【進化生態遺伝学】海洋動物の進化史を遺伝・生態の側面から明らかにする。サンゴ礁生物の多様性やサンゴ礁修復技術についても研究している。 e-mail: hatta.masayuki@ocha.ac.jp
教授 GC Professor	嶋田 智 SHIMADA Satoshi ☎(5356)	構造植物科学 Structure of Plant Sciences	【多様性生物学】どの様な生物種がどれほどの地球上に存在しているのか?そもそも、どうやって生物は多様化してきたのか?という生物多様性に関する素朴な疑問を明らかにしたいと考えている。 e-mail: shimada.satoshi@ocha.ac.jp
教授 Professor	清本 正人 KIYOMOTO Masato ☎0470-29-0838	発生機構学 Developmental Mechanics	【発生生物学】棘皮動物を材料に、初期発生における細胞の分化や形態形成のメカニズムを明らかにする。具体的には、ウニ胚の骨片形成細胞の分化における誘導因子や細胞間の相互作用について、培養系を使って研究している。 e-mail: kiyomoto.masato@ocha.ac.jp
准教授 GC Associate Professor	宮本 泰則 MIYAMOTO Yasunori ☎(5363)	分子細胞生物学 Molecular Cell Biology	【分子細胞生物学】動物細胞の細胞外マトリックスと細胞との接着を担っている細胞接着分子について、細胞接着分子が増殖・分化に及ぼす影響を分子レベルで解明している。特に細胞接着分子の中でもヒトロネクチンに着目し、神経細胞における発現と神経分化に対する作用機構解明を試みている。 e-mail: miyamoto.yasunori@ocha.ac.jp
准教授 GC Associate Professor **	近藤 るみ KONDO Rumi ☎(5372)	進化多様性 Evolution and Diversity	【分子進化学】生物の多様性と進化の問題を分子レベルで明らかにする。特に遺伝子の発現レベル(トランスクリプトーム)の多様性と進化に着目した研究を進めている。 e-mail: kondo.rumi@ocha.ac.jp
准教授 GC Associate Professor	植村 知博 UEMURA Tomohiro ☎(5713)	細胞膜機能学 Molecular Membrane Biology	【細胞膜機能学】真核細胞のオルガネラの膜ダイナミクスと生理機能を明らかにする。ライブイメージングによる観察によって研究を進める。 e-mail: uemura.tomohiro@ocha.ac.jp
助教 GC Assistant Professor **	佐藤 敦子 SATO Atsuko ☎(5377)	環境発生進化学 Environment Development & Evolution	【発生進化学】生物の発生が環境に反応してどう変化し、どう進化するのか。大量データ解析と発生進化学的手法を用いて解明する。 e-mail: sato.atsuko@ocha.ac.jp
助教 GC Assistant Professor **	毛内 拓 MONAI Hiromu ☎(5303)	生体応答ダイナミクス Dynamics in Biological Responses	【生体組織機能学】脳が生きているとはどういうことか?生きた脳組織が機能する基礎原理について、非シナプスの相互作用の観点から解明を試みている。 e-mail: monai.hiromu@ocha.ac.jp
客員教授 Visiting Professor	田中 啓二 TANAKA Keiji (東京都医学総合研究所)	生体防御システム Biophylaxis System	細胞内リサイクル装置であるプロテアソームやオートファジーについて分子から個体レベルまで多面的に解析し、神経細胞の恒常性を維持する機構について研究している。 e-mail: tanaka-k@igakuken.or.jp
客員教授 Visiting Professor	正井 久雄 MASAI Hisao (東京都医学総合研究所)	ゲノム複製の分子メカニズムの解明を基盤に、ゲノムの継承、安定性維持のメカニズム、その破壊によるがん細胞の形成などについて研究している。ゲノムの新しい機能シグナルとしての、グアニン4重鎖構造など、非標準型DNA構造の生物学的意義の解明も目指している。 e-mail: masai-hs@igakuken.or.jp	
客員教授 Visiting Professor	小野 弥子 ONO Yasuko (東京都医学総合研究所)	シグナル伝達機構 Biological Signaling Mechanism	細胞内の調節的タンパク質切断酵素「カルパイン」の生理機能と構造機能相関について研究している。 e-mail: ono-ys@igakuken.or.jp
客員教授 Visiting Professor	Martin Frith (国立研究開発法人 産業技術総合研究所)	ゲノム情報学 Genome Informatics	【ゲノム情報学】コンピューターを利用した統計モデルにもとづき、比較ゲノミクスの手法を用いて、ゲノム塩基配列から機能および進化に関する情報を読み解く研究を進めている。 e-mail: m.frith@aist.go.jp
客員准教授 Visiting Associate Professor	油谷 幸代 ABURATANI Sachiyo (国立研究開発法人 産業技術総合研究所)	生体ネットワーク解析学 Biological Network Analysis	【バイオインフォマティクス】生体細胞内における遺伝子間の制御関係の解明を目的とし、マイクロアレイデータなどの網羅的遺伝子発現プロファイルデータからの遺伝子ネットワーク推定手法の開発、および開発した手法を適用してモデル生物における遺伝子発現解析を行っている。 e-mail: s.aburatani@aist.go.jp
客員准教授 Visiting Associate Professor	前川 素子 MAEKAWA Motoko (特定国立研究開発法人 理化学研究所)	生体分子科学 The Structure and Function of Biomolecules	各種ゲノム解析、モデル動物、ヒト生体試料等を用いた多角的なアプローチにより、発達障害(自閉症等)や統合失調症等の精神疾患の感受性遺伝子同定や機能、治療や予防に繋がるメカニズムについて研究している。 e-mail: motoko.maekawa@riken.jp
(教授)	相川 京子	担当専攻「理学専攻」 化学・生物化学領域 細胞機能科学と同じ	

(注1) ◎は、2021年度末をもって退職予定であり、○は2022年度末をもって退職予定である教員である。

なお、2020年度末(2021年3月31日付)で定年退職予定の教員は記載されていない。

(注2) ※は、領域代表である。

(注3) GCは、Global Students Course担当可能教員である。

(注4) **印の教員は、主任指導教員として志望できない。

(注5) () は、他専攻の兼任教員であり、本専攻では主任指導教員にはならない。

ライフサイエンス専攻 Life Sciences		03-5978- (下記☎参照)	
食品栄養科学領域 Food and Nutritional Sciences			
担当教員	授業科目	研究テーマ又は研究分野	
Position	Name	Main Subject	
教授 Professor ○	GC 藤原 葉子 FUJIWARA Yoko ☎(5752)	分子栄養学 Molecular Nutrition	【栄養化学、脂質栄養学】食品成分と動脈硬化症をはじめとする生活習慣病との関連に関心がある。特に多価不飽和脂肪酸や脂溶性ビタミンの生理機能研究を行っている。 e-mail: fujiwara.yoko@ocha.ac.jp
教授 Professor	GC 森光 康次郎 MORIMITSU Yasujiro ☎(5757)	食品生理機能学 Studies on Food Functionality	【食品機能化学】近年、食品起源の生体調節機能性因子が注目され、その重要性が広く一般にも認識されるようになった。身近となった抗酸化物質から生活習慣病予防効果を示す食用植物由来の生理活性物質について、有機化学的・生化学的研究を中心に行っている。 e-mail: morimitsu.yasujiro@ocha.ac.jp
教授 Professor	GC 赤松 利恵 AKAMATSU Rie ☎(5680)	食行動学 Eating Behavior	【栄養教育学】人の食行動に関わる要因について、心理社会的観点から検討し、よりよい生活習慣を獲得するための方法を研究している。 e-mail: akamatsu.rie@ocha.ac.jp
教授 Professor ※	GC 飯田 薫子 IIDA Kaoruko ☎(5474)	栄養臨床医学・疫学 Lecture on Clinical Nutrition	【応用栄養学、生活習慣病学】生体内における糖や脂質の代謝機構について生活習慣病との関連性から研究を行っている。 e-mail: iida.kaoruko@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	須藤 紀子 SUDO Noriko ☎(5448)	国際公衆栄養学 International Public Health Nutrition	【公衆栄養学】災害時の食生活支援のための体制整備に関する研究を行っている。 e-mail: sudo.noriko@ocha.ac.jp
講師 Lecturer	GC 市 育代 ICHI Ikuyo ☎(5750)	臨床栄養学 Clinical Nutrition	【臨床栄養学】脂質の代謝異常は生活習慣など様々な疾患の発症に関わっている。病態における脂質の変動と疾病との関連について研究を行っている。 e-mail: ichi.ikuyo@ocha.ac.jp
助教 Assistant Professor **	GC 佐藤 瑠子 SATO Yoko ☎(5754)	給食品質管理論 Quality control of food services	【給食経営管理】給食を生産する際の食品の物理的・化学的な変化を把握し、品質管理の手法を提案するための研究を行っている。 e-mail: sato.yoko@ocha.ac.jp
客員教授 Visiting Professor	久城 真代 KUSHIRO Masasyo (国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構)	食品安全管理学 Food Safety	【食品安全管理学】カビ毒を含めた食品の安全管理に関する研究。 e-mail: kushiro@maffrc.go.jp
客員准教授 Visiting Associate Professor	根井 大介 NEI Daisuke (国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構)	食品バイオテクノロジー Food Biotechnology	【食品バイオテクノロジー】食品の技術開発（衛生管理、リスク検出・低減、加工技術等）に関する研究を行っている。 e-mail: nei@maffrc.go.jp
遺伝カウンセリング領域 Genetic Counseling			
教授 Professor ※	三宅 秀彦 MIYAKE Hidehiko ☎(5587)	遺伝カウンセリング論 Guide to Genetic Counseling	【臨床遺伝医学、遺伝カウンセリング学】出生前診断を中心とした遺伝に関わる問題に対して、遺伝カウンセリングや教育、社会啓発に関する研究を行っている。 e-mail: miyake.hidehiko@ocha.ac.jp
助教 Assistant Professor **	佐々木 元子 SASAKI Motoko ☎(5742)	ゲノム遺伝学 Genetics and Genomics	【遺伝カウンセリング学、遺伝教育】遺伝カウンセリング全般に対する問題と、遺伝教育や社会啓発に関する研究を行っている。 e-mail: sasaki.motoko@ocha.ac.jp

(注1) ◎は、2021年度末をもって退職予定であり、○は2022年度末をもって退職予定である教員である。

なお、2020年度末（2021年3月31日付）で定年退職予定の教員は記載されていない。

(注2) ※は、領域代表である。

(注3) GCは、Global Students Course担当可能教員である。

(注4) **印の教員は、主任指導教員として志望できない。

理学専攻 Advanced Sciences		03-5978- (下記☎参照)	
数学領域 Mathematics			
担当教員	授業科目	研究テーマ又は研究分野	
Position	Name	Main Subject	
教授 Professor ※	横川 光司 YOKOGAWA Koji ☎(5357)	ホモトピー数学 Homotopical Mathematics	従来の等号をベースにした数学から同値をベースとしたものへ移行したものがホモトピー数学である。ホモトピー数学により、これまで見えていなかった数学構造が捉えられる。研究テーマはこのホモトピー数学の論理的基礎づけとその幾何学への応用である。 e-mail: yokogawa.koji@ocha.ac.jp
教授 Professor ◎	中居 功 NAKAI Isao ☎(5310)	特異点論 Singularities in Maps and Dynamical Systems	微分方程式の解の幾何学的な振舞いを理解することを目的としている。そのために、微分方程式を複素力学系とみなし、力学系の研究の方法を応用する。また計算機による様々な数値実験もする。また、解の大域的振舞いととも特異点のまわりにおける挙動を調べる。 e-mail: nakai.isao@ocha.ac.jp
教授 Professor	萩田 真理子 HAGITA Mariko ☎(2712)	組み合わせ構造論 Combinatorial Structure	【離散数学】M系列、差集合、ブロックデザイン、符号などの離散構造の存在性についての理論研究と、グラフ彩色、疑似乱数、暗号など情報セキュリティのための離散数学の応用研究を行っている。 e-mail: hagita.mariko@ocha.ac.jp
教授 Professor	竹村 剛一 TAKEMURA Kouichi ☎(5298)	数理解析論 Mathematical Analysis	【可積分系、特殊関数】可積分系と関係する複素変数の微分方程式や差分方程式の研究を行い、特定の系に対する理解の深化などの応用を目指す。関連して、楕円関数や超幾何関数に代表される特殊関数自体の研究も行う。 e-mail: takemura.kouichi@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	戸田 正人 TODA Masahito ☎(5305)	大域幾何構造論 Global geometry	位相構造など空間の大域的性質を距離構造や複素構造などの空間上の幾何構造との関連から研究する。多様体などの位相構造の分類を行うことを目的として、幾何構造上で展開される解析学を援用して、空間に生ずる特異性の解析を行なう。 e-mail: toda.masahito@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	久保 隆徹 KUBO Takayuki ☎(5300)	関数解析特論 Functional Analysis	流体力学などに現れる現象を記述する様々な偏微分方程式に関する数学解析を行っている。フーリエ解析や、関数解析的・数値解析的手法で現象の数学的理解を目指す。 e-mail: kubo.takayuki@ocha.ac.jp

(注1) ◎は、2021年度末をもって退職予定であり、○は2022年度末をもって退職予定である教員である。

なお、2020年度末（2021年3月31日付）で定年退職予定の教員は記載されていない。

(注2) ※は、領域代表である。

(注3) GCは、Global Students Course担当可能教員である。

(注4) **印の教員は、主任指導教員として志望できない。

物理学領域 Physics		研究テーマ又は研究分野	
担当教員	授業科目		
Position	Name	Main Subject	
教授 Professor	GC 森川 雅博 MORIKAWA Masahiro ☎(5312)	宇宙天体物理学 Physical Cosmology	【宇宙論】初期宇宙の相転移のダイナミクス、場の理論・非平衡統計力学などの手法も利用する。宇宙の波動関数・ブラックホールからの輻射・量子コヒーレンスと古典・観測的宇宙論も含む。 e-mail: morikawa.masahiro@ocha.ac.jp
教授 Professor	小林 功佳 KOBAYASHI Katsuyoshi ☎(5314)	ナノスケール物理 Nano-Scale Physics	【メソからナノスケールの物理、表面物理】最近の微細加工技術や走査プローブ顕微鏡等の進歩により、原子やナノのスケールでの物性測定や人工構造物の作成が可能になった。このスケールに特有な物理現象を探る目的で理論的な立場から研究を行っている。 e-mail: kobayashi.katsuyoshi@ocha.ac.jp
教授 Professor	奥村 剛 OKUMURA Ko ☎(5321)	ソフトマテリアルズの物理 Physics of Soft Materials	【ソフトマター物理・化学物理】理論と実験の両面から、ゲル、液晶、破壊、粘弾性、表面張力、濡れ、粉粒体などをキーワードにソフトマター物理学の研究をしている。場の理論、経路積分、非平衡統計力学などの手法を基礎にした、溶液の多次元レーザー分光理論ももうひとつの研究の柱である。 e-mail: okumura.ko@ocha.ac.jp
教授 Professor	GC 出口 哲生 DEGUCHI Tetsuo ☎(5322)	非線形現象解析 Analysis of Nonlinear Phenomena	【数理物理学・物性基礎論】非線形性は多様な自然現象の中で重要な役割を果たす。非線形性のために系は単なる部分の和でない、全体として特有の性質を示す。ソリトンの逆散乱法やペーア変換などの数理物理学の手法を用いて、水面の波動、量子スピンの激散、結び目と物理、高分子など幅広いテーマを総合的に研究する。 e-mail: deguchi.tetsuo@ocha.ac.jp
教授 Professor	GC 古川 はづき FURUKAWA Hazuki ☎(5317)	強相関物理 Strongly correlated electron system	【強相関電子系の研究】強相関電子系の物理という視点から、(1) 金属間化合物超伝導体RENi2B2C (RE=Y, Ho, Er, Dy, Yb, etc.) (2) 巨大磁気抵抗効果を示すペロブスカイト型Mn 酸化物 (3) 銅を含まない酸化物超伝導体Sr2RuO4系とその関連物質 (Sr, Ca)2RuO4系という3つの系を研究する。 e-mail: furukawa.hazuki@ocha.ac.jp
教授 Professor	GC 番 雅司 BAN Masashi ☎(5326)	統計物理学 Statistical Physics	【量子情報・非平衡統計力学】量子情報のダイナミクスを非平衡統計力学の手法を用いて研究する。また、情報という概念を用いて量子力学の測定の問題や統計力学の不可逆性に関する問題を研究する。更に、物理と情報の両面から量子通信システムの様々なプロトコルの研究に取り組む。 e-mail: ban.masashi@ocha.ac.jp
教授 Professor	GC 曹 基哲 CHO Gi-Chol ☎(5330)	ゲージ理論 Gauge Theory	【素粒子物理学理論】電弱相互作用、強い相互作用を記述するゲージ理論に基づき、高エネルギー領域における素粒子現象を研究する。超対称性の存在、質量の生成機構、高次元空間の可能性等を検証するための研究も行う。 e-mail: cho.gichol@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	北島 佐知子 KITAJIMA Sachiko ☎(5941)	統計物理学 Statistical Physics	【量子情報・非平衡統計力学】量子情報の理論的研究を行う。また、非平衡ダイナミクスの視点から量子系の基礎的諸問題の解明に取り組む。 e-mail: kitajima.sachiko@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	GC 河野 能知 KONO Takanori ☎(2057)	高エネルギー物理 High Energy Physics	【素粒子物理学実験】CERNで行われている高エネルギー陽子・陽子衝突実験ATLASに参加して、最高エネルギーでの素粒子現象の測定および新粒子の探索などの研究を行っている。また半導体飛跡検出器の開発も行っている。 e-mail: kono.takanori@ocha.ac.jp
講師 Lecturer	** 左石田 稔 SODA Minoru ☎(5319)	磁性体特論 Advanced Magnetism	【固体物性】磁性・強相関電子系における実験的研究を行う。磁気秩序と強誘電性が共存するマルチフェロイクスの起源解明や幾何学的フラストレーション磁性体・低次元磁性体等における新規磁性相の探索に取り組む。 e-mail: soda.minoru@ocha.ac.jp
化学・生物化学領域 Chemistry and Biochemistry			
教授 Professor	GC 藤野 景子 TAKANO Keiko ☎(5338)	複雑系量子化学 Quantum Chemistry of Complex Systems	【理論化学、計算化学】分子およびその集合体の構造や機能、化学反応の機構、分子間相互作用について、量子化学的手法に基づくシミュレーション計算により研究を行う。生命科学分野、物質材料分野への応用研究として、糖鎖科学、有機金属化学、クラスター科学における諸問題に取り組む。 e-mail: takano.keiko@ocha.ac.jp
教授 Professor	GC 山田 眞二 YAMADA Shinji ☎(5349)	有機反応設計 Design of Organic Reaction	【合成有機化学、構造有機化学】有機分子の構造と反応に関する基礎的研究を行い、それらに基づき有機分子を自在に構築するために必要な、位置、立体、官能基選択性を制御する新しい方法について研究する。 e-mail: yamada.shinji@ocha.ac.jp
教授 Professor	GC 近藤 敏啓 KONDO Toshihiro ☎(5347)	ナノ界面化学 Nano-Interfacial Chemistry	【ナノ界面物理化学・分析電気化学】電気化学反応(電極/溶液界面の電子移動反応)を定量的に理解することおよび燃料電池やセンサなどのナノテクノロジーにつながる分子デバイス構築することを目的として、原子・分子のレベルで構造制御した界面を構築し、電子移動反応を追跡するとともに、界面の構造変化をその場追跡する。 e-mail: kondo.toshihiro2@ocha.ac.jp
教授 Professor	GC 森 義仁 MORI Yoshihito ☎(5346)	複雑系分析化学 Analytical Chemistry of Complex Systems	【非平衡系化学】非線形領域の非平衡系の現象として特有のリズムまたはパターン形成の動的特徴の解析を実験または数値解析を用いて進める。非平衡化学の応用として自然環境問題を取り上げる。 e-mail: mori.yoshihito@ocha.ac.jp
教授 Professor	GC 相川 京子 AIKAWA Kyoko ☎(5345)	細胞機能化学 Cellular Biochemistry	【生化学、分子生物学】糖鎖とタンパク質の相互作用を分子レベルで理解することや、糖鎖結合タンパク質(レクチン)の生体内での機能を明らかにすることを目的に研究を行い、基礎医学や創薬への応用にも取り組む。 e-mail: aikawa.kyoko@ocha.ac.jp
教授 Professor	GC 棚谷 綾 TANATANI Aya ☎(2716)	超分子構造化学 Advanced Supramolecular Chemistry	【構造有機化学・医薬化学】芳香族有機分子の立体特性や集合体形成を基盤として、新規機能性分子を創製する。また、生理活性物質の設計、合成へと応用し、疾患治療を目的としたケミカルバイオロジー研究をおこなう。 e-mail: tanatani.aya@ocha.ac.jp
教授 Professor	GC 矢島 知子 YAJIMA Tomoko ☎(5715)	機能性有機化学 Functional Organic Chemistry	【合成有機化学・有機フッ素化学】新規有機合成法を開発し、その手法を用いて合成した化合物の機能の探索を行う。特に有機フッ素化合物に着目し、医薬品、機能性有機材料等への応用を目指す。 e-mail: yajima.tomoko@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	** 宮崎 充彦 MIYAZAKI Mitsuhiro ☎(5717)	量子物性化学特論	【物理化学、分子分光学】分子間の凝集構造の解明、分子運動・化学反応のダイナミクスについて、分光測定を主たる手段とした実験的研究を行う。複数のレーザー光を利用した電子・振動分光、時間分解分光を気相分子クラスターに適用し、理論計算も援用しつつミクロな視点から化学現象の解明を目指す。新たな分光法、光源の開発など新規研究手法の開発にも取り組む。 e-mail: miyazaki.mitsuhiro@ocha.ac.jp
講師 Lecturer	GC 伊村 くらら IMURA Clara ☎(5291)	ナノ界面化学 Nano-Interfacial Chemistry	【機能性ナノ材料、コロイド・界面化学】界面化学の視点から、触媒材料、光学材料へつながる金属ナノ結晶の形態制御とその機構解明を行う。さらに、分子間相互作用にもとづく低分子化合物とのハイブリッド材料を構築し、分野横断的なアプローチからの新規な機能性開拓にも積極的に取り組む。 e-mail: imura.clara@ocha.ac.jp
講師 Lecturer	GC 三宅 亮介 MIYAKE Ryosuke ☎(2649)	構造分子科学 Structural Molecular Science	【錯体化学・超分子化学】金属錯体をデザインし、さらに構造変換に基づき物性変換することにより省エネルギー・高効率の機能創出を目指しています。分子レベルでの観測・理解に基づいて、精密な機能設計・制御を行います。特に構造特性やデザイン性に着目してペプチド金属錯体結晶を軸に研究を進めています。 e-mail: miyake.ryosuke@ocha.ac.jp

(注1) ◎は、2021年度末をもって退職予定であり、○は2022年度末をもって退職予定である教員である。

なお、2020年度末(2021年3月31日付)で定年退職予定の教員は記載されていない。

(注2) ※は、領域代表である。

(注3) GCは、Global Students Course担当可能教員である。

(注4) **印の教員は、主任指導教員として志望できない。

理学専攻 Advanced Sciences			☎ 03-5978- (下記☎参照)
情報科学領域 Computer Science			
担当	教員	授業科目	研究テーマ又は研究分野
Position	Name	Main Subject	
教授 Professor	GC 吉田 裕亮 YOSHIDA Hiroaki ☎(5386)	非可換解析論 Noncommutative Analysis	【非可換解析学】非可換解析学とは、量子系を記述する数学的な道具である。非可換解析学において、中心的な役割を果たす作用素環論、最近では特に、作用素環上で考えられる非可換確率論に関連した研究を行っている。 e-mail: yoshida@is.ocha.ac.jp
教授 Professor	GC 椎尾 一郎 SIIO Itiro ☎(5398)	ヒューマン・コンピュータ・インタラクション論 Human-Computer Interaction	【ヒューマンインタフェース】コンピュータが日用品になり、ユビキタスな存在になるに従い、人とコンピュータのインタラクションが大きく変化しつつある。そこで、日常生活におけるコンピュータ利用の可能性と新しいインタラクション手法を研究する。 e-mail: sio@is.ocha.ac.jp
教授 Professor	GC 小口 正人 OGUCHI Masato ☎(5379)	情報ネットワーク論 Information Network	【ネットワークコンピューティング】ネットワークにより接続された種々の計算機資源を互いに連携させ、高度なデータ処理を行うためのネットワークコンピューティング・ミドルウェアの研究を行う。 e-mail: oguchi@is.ocha.ac.jp
教授 Professor	GC 浅本 紀子 ASAMOTO Noriko ** ☎(5382)	コンピュータ援用論 Computer Aided Instruction	【情報数学】自然や社会の現象の解析においてコンピュータを使ったアプローチを行う。数式処理系の現象理解への応用や、知識獲得の過程におけるコンピュータによる支援を研究する。また教育現場とくに遠隔教育でのコンピュータネットワークによる支援を研究する。 e-mail: asamoto@is.ocha.ac.jp
教授 Professor	GC 小林 一郎 KOBAYASHI Ichiro * ☎(5708)	知能情報処理論 Advanced Intelligent Information Processing	【知能情報処理、言語情報処理】近年、知的といわれるコンピュータシステムをつくるのに、言語など様々なメディアがメディアとして活用され、その役割が大きくなってきている。本講義では知的な情報サービスを実現するために言語を中心とするメディアがどのように表現され、知的な情報処理として利用されるのかについて考察する。また、Web上などで実現されてきている意味を対象とした情報処理技術についても議論する。 e-mail: koba@is.ocha.ac.jp
教授 Professor	GC 伊藤 貴之 ITO Takayuki ☎(5700)	画像情報論 Visual Informatics	【ビジュアルコンピューティング】画像技術に関する先進的な研究を行う。例として、情報可視化、画像認識、写実的画像生成、3次元形状モデリング、音楽情報やテキスト情報と融合したマルチメディア画像技術、などに着目する。 e-mail: itot@is.ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	GC 浅井 健一 ASAI Kenichi ☎(5388)	プログラム変換論 Program Transformation	【プログラミング言語】部分評価を始めとするプログラム変換、部分継続の理論と応用、型理論、プログラムの正当性の証明、自己反映言語など、おもに関数型言語に軸足を置いたプログラミング言語の理論と応用について研究を行っている。 e-mail: asai@is.ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	GC 戸次 大介 BEKKI Daisuke ☎(5378)	情報構造解析論 Advanced Applied Analysis	【数理言語学】自然言語の、主に統語論、意味論、語用論に対して、記号論理、ラムダ計算、圏などの数理論理学的アプローチを用いた分析を行っている。 e-mail: bekki@is.ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	GC 工藤 和恵 KUDO Kazue ☎(5380)	統計数理論 Statistical Mathematics	【数値計算・統計力学】統計力学で扱われる問題は、幅広い。その中でも、特に量子ダイナミクスや非平衡系のパターン形成の問題を、主に数値計算を用いて研究している。 e-mail: kudo@is.ocha.ac.jp
[教授 [准教授	番 雅司 北島 佐知子	非可換解析論 Noncommutative Analysis	理学専攻 物理学領域 統計物理学と同じ

(注1) ◎は、2021年度末をもって退職予定であり、○は2022年度末をもって退職予定である教員である。
*は、2020年度は研究指導を行わない教員である。また、**印の教員は、主任指導教員として志望できない。
なお、2020年度末(2021年3月31日付)で定年退職予定の教員は記載されていない。
(注2) ※は、領域代表である。
(注3) GCは、Global Students Course担当可能教員である。
(注4) []は、他領域の兼任教員である。

【参考】生活工学共同専攻を志望する者は、「生活工学共同専攻学生募集要項」(別冊子)で出願すること。

2020年6月1日現在

生活工学共同専攻			☎ 03-5978- (下記☎参照)
担当	教員	授業科目	研究テーマ又は研究分野
Position	Name	Main Subject	
教授 Professor	GC 太田 裕治 OHTA Yuji ☎(5739)	生活支援工学 Life Support Engineering	【人間工学】我々の生活と直接関連する生活支援機器、高齢者支援機器、人工臓器等の医用福祉機器の開発に関する工学的基礎研究を行う。生体システムを深く解析すると同時にセンシティブ(設計)と技術評価に重点をおきつつ研究を進めている。 e-mail: ohta.yuji@ocha.ac.jp
教授 Professor	GC 仲西 正 NAKANISHI Tadashi ☎(5745)	環境材料機能学 Functionality of Materials in Environment	【生活材料物性】機能性高分子の性質を物理化学的に検討し、機能発現機構を考察するとともに、生活材料の機能化の方向を探る。グル、荷電膜、消臭繊維などを最近の研究対象としている。 e-mail: nakanishi.tadashi@ocha.ac.jp
教授 Professor	GC 大瀧 雅寛 OTAKI Masahiro ☎(5748)	環境衛生工学特論 Environmental Sanitation Engineering, Advanced Course	【環境工学】安全で快適な生活環境を確保するために、環境因子(主に水環境)が人間に与える様々な影響を評価する手法、及びそれらを管理制御する技術について工学的に検討、研究を行う。 e-mail: otaki.masahiro@ocha.ac.jp
教授 Professor	GC 元岡 展久 MOTOOKA Nobuhisa ☎(5585)	建築設計学 Architectural Design	【建築意匠論】建築は何を表現するのか?様々な建築の実例を通じて、建築形態を分析し、設計の意図ならびに方法を研究する。 e-mail: motooka.nobuhisa@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	GC 長澤 夏子 NAGASAWA Natsuko ☎(5743)	建築環境論 Architectural Planning Theory	【建築人間工学】都市や建物の利用者および環境にやさしい建築をつくるために、人間の生活、行動や身体とそれとをとりまく環境について工学的なアプローチで、建築空間の設計の根拠を提示する研究をおこなう。 e-mail: nagasawa.natsuko@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	GC 近藤 恵 KONDO Megumi ☎(2551)	生活環境史特論 Living Environment History, Advanced Course	【自然人類学】ヒトの生物としての特徴を理解するため、現生の生体人類だけでなく、化石人類も研究対象とする。ヒトの身体に対する理解をより深め、それを踏まえて生活における身体に関わる諸問題について研究する。 e-mail: kondo.megumi@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	GC 中久保 豊彦 NAKAKUBO Toyohiko ☎(5746)	ライフサイクルアセスメント Life Cycle Assessment(LCA)	【環境評価学】循環型社会の設計、生活ごみや生活排水の処理に関わる環境インフラの更新について、シミュレーション手法による工学的な検討、研究を行う。 e-mail: nakakubo.toyohiko@ocha.ac.jp